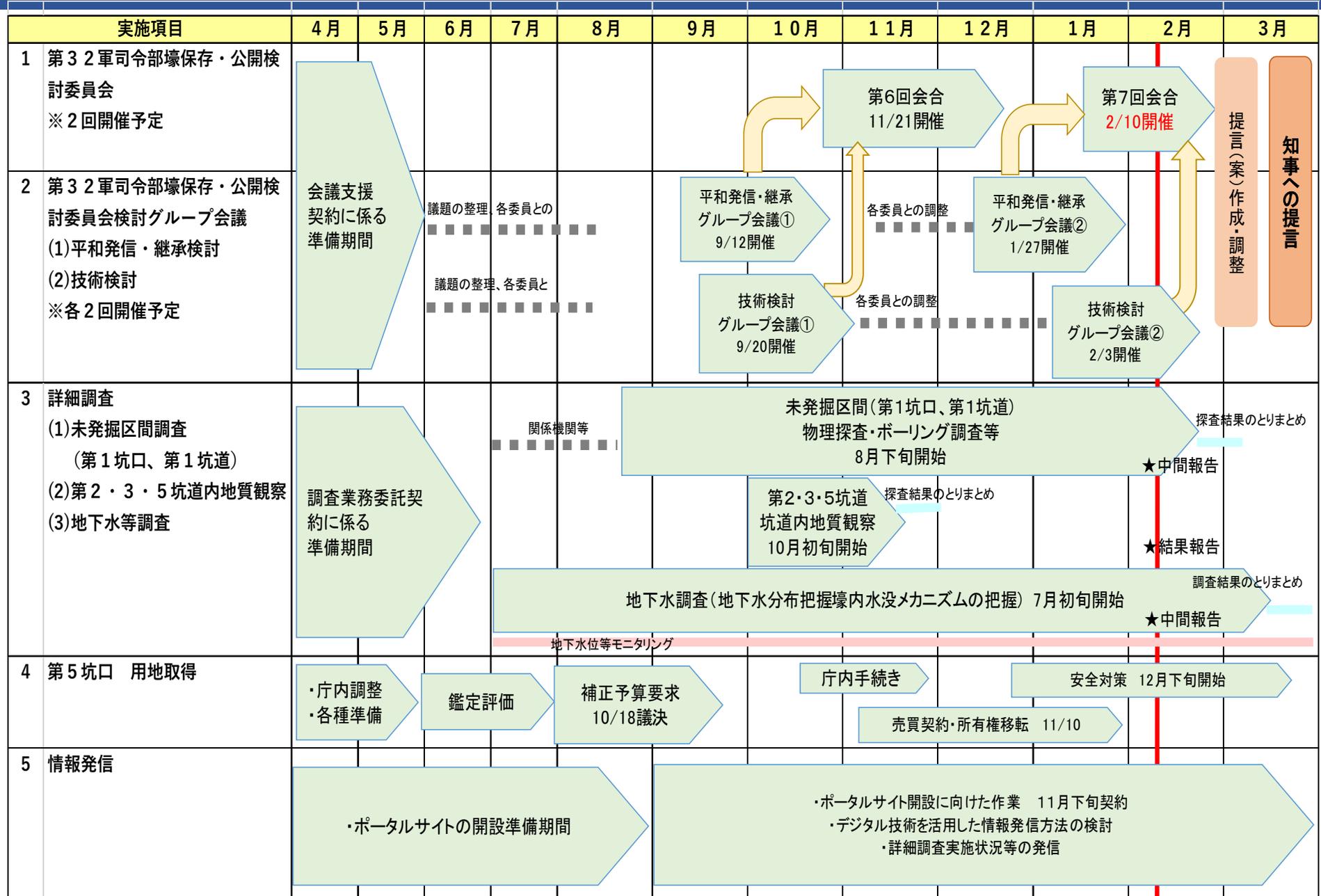


令和 4 年度 of 取組に係る進捗状況等

- 1 令和 4 年度スケジュール（案） P. 1
- 2 提言策定に係る作業イメージ（案） P. 2
- 3 各検討グループ会合の開催状況 P. 3

令和4年度スケジュール（案）



提言(案)作成・調整
知事への提言

提言策定に係る作業イメージ(案)

R
2
・
3

これまでの委員会
での調査・検討

- ✓ 文化財指定について
- ✓ ロードマップについて
- ✓ 文献調査について
- ✓ 壕内外の基礎調査・詳細調査計画について

R
4

提言たたき台作成
(事務局)

- ✓ 提言の構成及び項目(たたき台)を作成
- ✓ 各項目にこれまでの委員会での意見、詳細調査中間報告等を盛り込んで整理

検討G(8月頃)
委員会(9~11月頃)

- ✓ 検討グループ(G)において提言たたき台をもとに議論し、委員会へ報告
- ✓ 検討グループ(G)からの報告を受け、委員会において意見とりまとめ

意見聴取
(事務局)

- ✓ 検討グループ(G)、委員会の前後に委員から意見聴取(9~12月頃)

提言素案作成
(事務局)

- ✓ 意見聴取結果をもとに、素案を作成

検討G(1月頃)
委員会(2月頃)

- ✓ 検討グループ(G)において提言の素案を検討し、委員会へ報告
- ✓ 検討グループ(G)からの報告を受け、委員会において意見を取りまとめ

現在(2/10)はここ

提言策定

- ✓ 委員会において策定した提言を、委員長から知事へ手交

各検討グループ会合の開催状況について

平和発信・継承検討グループ

開催日：1月27日（金）

1 報告事項

- (1)令和4年度の取組に係る進捗状況等について
- (2)意見交換・質疑応答

2 議事事項

- (1)保存・公開に向けた提言の策定について
- (2)意見交換・質疑応答

3 主な委員意見

- (1)安全性の確保で『絶対的』と言い切るのは難しいがその文言を削除するのではなく『可能な限り』または『可及的』という表現にしてはどうか
- (2)『組織的戦闘の最後の砦』という表現は、摩文仁に司令部があったので違和感がある。また32軍を語る上で重要な『持久戦』という言葉は入れなければいけないと思う
- (3)『壕の果たした役割』という表現は戦争を肯定しているように受け取れるので、別の文言がよいと思う
- (4)壕内は必ずしもずっと真っ暗ではないので『真っ暗入壕体験』という言葉は削除してよいと思う
- (5)今後はガイドブックレベルのものを作ってほしいので、文献資料や証言記録は収集だけではなく32軍の史実を編集するレベルまで持っていく必要がある
- (6)ガイド育成はすぐにはできないのでロードマップに落とし込んでほしい

各検討グループ会合の開催状況について

技術検討グループ

開催日：2月3日（金）

1 報告事項

- (1)令和4年度の取組に係る進捗状況等について
- (2)意見交換・質疑応答
- (3)詳細調査の中間報告について
- (4)意見交換・質疑応答

2 議事事項

- (1)保存・公開に向けた提言の策定について
- (2)意見交換・質疑応答
- (3)事業費概算のための条件整理について
- (4)意見交換・質疑応答

3 主な委員意見

(1)報告事項に係る意見

- ①園比屋武御嶽石門付近で実施したボーリング調査における2本のボーリング孔で確認された、天然の地層とそうでない地層の境目について、この境目が第1坑道の床面であるという判断したことは妥当である

各検討グループ会合の開催状況について

技術検討グループ

3 主な委員意見

(2)議事事項に係る意見

<保存・公開に向けた提言の策定について>

- ①展示だけでなく平和教育のためのセミナーや会議などにも使えるような施設としても考えていくべき。予算のこともあと思うが基本計画策定の段階では将来的にどのように施設を活用していくか共有しておく必要がある
- ②『絶対的な安全性の確保が前提』という文言を『安全性に十分に配慮することを前提』という表現にするのはどうか
- ③『文化財指定等への取組とも整合的に検討』の文言を『文化財指定等の取組との整合性についても検討』という表現にするのはどうか
- ④当時の状況などがリアルに感じ取れるものにするため、首里城周辺と司令部壕周辺の地表と地下も含めた三次元的なジオラマ（VRを含む）や司令部壕内のVR画像などもあわせて展示することを検討してはどうか
- ⑤将来的に、壕内の見学にあたっては、当面の間、定期的な安全点検を実施するなど安全管理方法を検討することが必要なのではないか

<事業費概算のための条件整理について>

- ①事業費概算で『費用』として検討すべき項目について、事務局案のとおり『保全に係る整備費用』を計上することは妥当であるが、整備に当たり坑道の状態や文化財指定の影響を十分に考慮する必要がある